前回２月17日の例会記録

出席の状況

会員数　55名（内出席免除　３名）　出席者数　40名　欠席者数　15名
出席率　74.07％　　前々回訂正　83.33％
欠席者　相原，位田，加戸，金子，川本，木本，小橋，永見，大賀，高橋（裕），竹本，槌田，氏房，渡辺，（平野）

ビジター

岡山RC　大久保 祐一　様

S．A．A．

横山･山田会員:福島会員、仲田会員のイニシェーションスピーチ、楽しみにしています。また、これから、暖かくなり、野球も始まります。両会員の活躍を期待しています。

福元会員

三女の出産に際し、嬉しいお祝いを優しい皆様に頂きましたので、スマイルします。

菊井会員

西山社長、奥様、先日は大変お世話になりありがとうございました。

西岡会員

前回例会を、商用の為欠席しましたので、スマイルします。

以上,4件　27,000円（累計　668,000円）

会長報告

会長　横山俊彦

先日の２月16日㈰に山田幹事と２人で岡山東ロータリークラブの創立45周年記念式典に出席してきました。東RCは1969年に北RCと西南RCと同じ年に同時に３つのクラブが誕生しています。チャーターナイトも北と東の２クラブ合同で６月14日に行われたそうです。（いずれも岡山RCがスポンサードしています。）創立時の会員数は33名だったのが、今や90名ということで大変活気がありました。

奉仕活動はもちろんの事ですが、主に親睦と出席率を大切にしているとのことで、今年度のこれまで例会の出席率は88.7％で、昨年末のクリスマス夜間例会は100％の出席で家族・孫まで合わせると実に247名の参加だったそうです。東RCで知った方にお会いして話を聞いてみると「私は、今は仕事を退いているので、ロータリーに来るのが一番の楽しみだ」とおっしゃっていました。羨ましいなーと思って帰って来ました。我がクラブも、もっともっと会員数を増やして、先輩クラブに追いつきたいと思っていますので、皆さんと一緒に頑張りましょう。

幹事報告

幹事　山田喜広

1. ハイライトよねやま167号を回覧致します。

例会プログラム

イニシエーション スピーチ

○福島　清一　会員

幼稚園・小学校・中学校　『やんちゃな少年時代』福岡県福岡市中央区で産まれる。　港幼稚園から福浜小学校、当仁中学校を卒業。　小学１年生から町内で早朝は陸上チーム、夕方は野球チームと毎日、泥だらけのきたない少年時代を過ごす。

高校・大学『親元を離れ寮生活スタート』東海第五高等学校に入学し硬式野球部に所属し毎日、夜中まで練習して授業中はほぼ熟睡状態の3年間を過ごす。３年夏の大会ではベスト８。同級生では前田（ロッテ→中日→巨人→メジャー）やヤクルトで活躍していた川崎投手など。

東海大学に進学（文学部日本文学科卒）国語の教職をとる。硬式野球部に所属２年秋から監督が原貢に代わり地獄の３年間がはじまる。１年春３年春・秋４年春・秋とリーグ優勝し３年秋の神宮大会では東北福祉大学（斉藤・作山・浜名・金本・伊藤の５名プロ入り）と対戦し残念ながら１対２で敗れる。４年春の選手権ではベスト４、秋の神宮大会では１回戦から決勝まで全て先発したが慶応に逆転負けし準優勝。大学時代にはサイドスローから最速147キロを出しドラフト候補になるが指名されることなく現在にいたる。

社会人時代　平成５年、朝日生命に入社。硬式野球部に所属し午前中は本社へ出勤し午後からグランドへ移動し練習の毎日を過ごす。　都市対抗２回、スポニチ大会７回、日本選手権１回出場し都市対抗では黄獅子旗（ベスト４）。現役時代を10年過ごし、平成14年から本格的に仕事を始める。福岡支社に４年、横浜統括支社に７年と３ヶ所の営業所長を経験し平成24年4月から現在所属の　岡山支社　岡山北営業所・津山出張所の所長を務める。２月『まごころの月』グッドデザイン賞を受賞した『あんしん介護』のＰＲ活動中。

税理士の川本先生の紹介で平成25年７月より北西ロータリーに入会。他業種の方々と交流を（特に夜の飲み屋で）深めながら楽しく頑張っていきます。

○仲田　錠二　会員

仲田　錠二と申します。私は、平成25年10月から横山会長からお誘いいただき入会させていただくこととなりました。横山会長との出会いは、20歳のころではなかったかと思います。私は専門学校を卒業して現在のエバルス、当時は林薬品という会社に就職させて頂きました。そこでレセプトコンピュータを扱う部隊に配属されました。当時は今ほど医薬分業が盛んではない時代でした。たった９件しかない貴重な調剤薬局のユーザー様に、当時の上司に連れられ挨拶にうかがった時お会いしたのが最初の出会いです。今は非常に温和で、日々笑みがこぼれる会長ですが、当時、新人の私にとっては、非常に厳しく怖かった印象があります。それからずっと、今に至るまでお付き合いをして下さっている会長には、言葉で言い尽くせないほど大変感謝しています。私は34歳の時に当時の上司とエバルスを退職し、起業いたしました。そして、２年前に独立し現在にいたっております。しかしながら、人前でお話しさせていただくことが大の苦手です。といいますのも、人前で話をする経験があまりなく、ごくごく普通の家に生まれ、今までも普通に働き、人によって生かされ生かされており、取り上げて何かを伝えるようなことは何もないからです。悩みに悩んだ結果、私の生い立ちと大切にしている事を少しお話しさせて頂きたいと思います。

私は1971年　　、三人兄妹の次男として岡山で生まれました。２歳年上の兄と３歳年下の妹がいます。どちらも岡山に住んでおり家庭環境が厳しかったため、喧嘩をしながらも協力して育ってまいりました。そのためか今でも仲が良く、ゴルフやキャンプ、買い物など家族どうしで出掛けることも多くあります。幼少のころは高島団地に住んでおり、２歳年上の兄を大将に、近所の子供たちと毎日毎日暗くなるまで遊んでいました。小学校でも今では考えられないようないたずらをしては、よく先生に叱られ、拳骨も沢山頂きました。高校は瀬戸南高校を卒業いたしました。高校時代は、バイトと遊びにあけくれ、いざ就職しようにも成績も悪く学校斡旋の就職先はなく進路指導室で自ら探すしかありませんでした。見かねた母の勧めもあり岡山ビジネス専門学校を受験し当時は学生も少なく予定人員に足らなかったのか、どうにか補欠で入学することとなりました。専門学校ではけっして裕福

ではないのに、私のため学費を出してくれた両親の思いに応えようと、情報処理の国家資格を取ろうと思い、人生で初めて一生懸命勉強というものに取り組んだように思います。頭の悪い私を沢山の先生や友人が指導して下さり、卒業前にどうにか資格を取ることが出来ました。その先生は今でも人生の良き相談相手となっています。

私の父は岡山の中学を卒業後、高校に進むお金がなくすぐに大阪で働きました。母も高知の孤児院で育った為、中学卒業後大阪で働いておりました。そこで出会い結婚し父の故郷である岡山に帰って来たそうです。二人とも大変苦労してきた為か、仕事に対しては常に真面目で60台半ばの今になっても毎日元気に働いています。私たちは小さい時から勉強、勉強とは言われず、成績が悪いから、勉強をしないからといって叱られた事はほとんど有りませんでした。しかし、両親が仕事から帰って家の手伝いをしなかった時はひどく叱られたものでした。そして、我が家の家訓は「欲しい物が有れば自分で働いて買う」でした。学年に応じて多少のお小遣いはもらえましたが、兄の影響もあり小学４年生から中学３年生まで新聞配達をしました。普段浴びるほど酒を飲み陽気な父でも仕事の事には厳しく、「熱が出ても新聞配達は行きなさい、お金をもらうとはそう言う事だ」と言われ、どうにか兄と協力しながら６年間やりとげました。高校の３年間は学校から帰ると毎日居酒屋で働き、夏休みなどの長期休暇となると居酒屋のバイトに加え内装業や塗装業もしていました。専門学校ではラーメン屋で働き、その時の社長ともいまだにお付き合いをさせていただいています。アルバイトを通してたくさんの人に助けられ、お金を頂くことの厳しさも感じてきました。人は何をして働くかが大切ではなく、働くこと自体に価値があると考えるようになってきたのはこのような環境で育ってきたからではないかと思います。

次に私が大切にしていることについてお話したいと思います。皆さんは「不失花(うせざるはな)」という言葉をご存じでしょうか。これは能楽の土台を確立した世阿弥(ぜあみ)が残した言葉でが。人の本当の美しさはその人が稽古を重ね修行を極めることによって表れるというものです。それが本当の花であり、失うことのない花である。という意味です。私はこの言葉は剣道を通じて知りました。私が剣道と出会ったのは33歳の時でした。長男が始めた剣道に付き添いで行った時、「少し振ってみませんか？」という先生の一言がきっかけです。最初は寒さ対策の為、軽い気持ちで始めたのですが、次は道着、次は防具と勧められ、あっという間に完全装備で子供と一緒に稽古するようになっていました。私が今も剣道を続けられているのは、今は亡き伊賀先生のお言葉のおかげだと思っています。伊賀先生は「仲田さんは大人になって剣道を始ましたよね、剣道をスポーツだと思って勝ち負けだけにこだわってやっていくと、年を重ねていくうちに体は老いだんだん勝てなくなり、稽古が嫌になり途中で辞めてしまうでしょう。でも剣道を、生きていく道(みち)だと思い稽古を重ねていけば死ぬ日が一番上達していますよ。だから面を打ちなさい、10年面だけを打ち鍛錬すればどうにか剣道の入り口が見えてきます。80、90と剣道を続けるなら高々10年です。

と、その今年が10年目ですが。まだまだ剣道の入り口も見えてないように思います。沢山の立派な指導者の先生や、おじさん剣道で力が抜けない痛い打ちを我慢して受けてくれたスポーツ少年団の子供たちのお陰で昨年４段まで昇段することができました。私は剣道を通じて沢山の人と出会い、学ばせていただきました。人の出会いは自分を成長させてくれると信じています。この度、ロータリークラブに入会し沢山の会員のみなさまと出会ったことも私を成長させて下さるのではないかと思っております。まだまだ未熟な自分ですが、失せざる花を求めてこれからもスポーツ少年団やロータリー活動を通し少しでも社会の為になる事が出来ればと思います。本当に拙い文章で申し訳ないのですがこれで私の話を終わらせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

例会情報

本日のメニュー（２月24日）　創立記念夜間例会

次回のメニュー（３月３日（ヘルシー和食））

井　物　鶏そぼろ餡掛け丼（小松菜　茄子素揚げ　温玉　洗葱　煎り胡麻）
別猪口　針海苔
小　鉢　中華海月　胡瓜　もやし　姫赤茄子　蒸し鶏　　赤出汁　　香　物　三種

会報部会／末吉賢多・木本克彦